

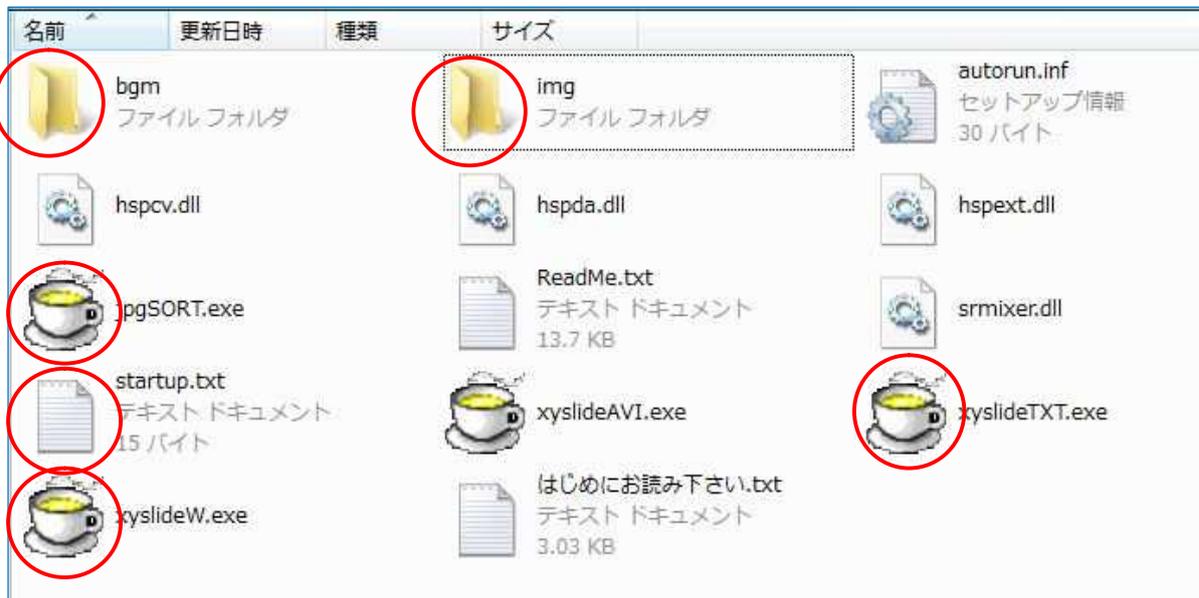
簡単に出来るスライドショー

写真にスクロール文字（説明文）やBGMを付けたスライドショーを作ってみましょう。
使用するソフトは「xyslide26」です。

このソフトが扱える画像はJPEG、BMP及びGIFに限定されますが、使用できる画像の枚数（バイト数）は無制限です（記録媒体の容量による限度はあります）。勿論、USBに入れることも、CDに焼くことも出来ます。

（デジカメ動画（AVI、MOV）を扱うこともできますが、講座では説明を省略します。）

「xyslide26」フォルダを開くと、次のファイルとサブフォルダがあります。



今回は赤丸で囲んだサブフォルダとファイルを使います。

ダウンロードしたままの状態のソフト（xyslide26）には、サンプル画像（img）とサンプルBGM（bgm）が入っていますが、講座で使うものからは、サンプルを削除しています。

1. 画像だけのスライドショーを作成する

- (1) 「img」フォルダに、スライドショーに使用する画像（jpg等）を入れる
スライドショーに使用する画像（jpg等）を選択して、右クリック 「コピー」を実行 「img」フォルダを開き、右クリック 「貼り付け」を実行する。
- (2) スライドショーを実行する
「xyslideW.exe」をダブルクリックして起動すると、スライドショーが始まる。
- (3) スライドショーで表示する画像の順番について
「xyslideW.exe」で実行するスライドショーは、「撮影日時順」又は「名前順」で表示することが出来ますが、撮影日時順に名前を付け替えておくと、分かりやすい。

「撮影日時順」の場合は、実行ファイルが画像データから撮影日時データを読み込んで、実行しますが、bmp、gif画像や一度編集したjpg画像からは撮影日時データが取得できないので、更新日時順となる。

一度スライドショーを実行すると「xyslide.txt」というファイルが「img」フォルダの中に自動作成される。 画像の順番を入れ替えるには、このファイルを修正する必要がある。



（注）画像を取り換えた場合や撮影日時順から名前順に変更する場合は、

「xyslide.txt」を必ず削除しておくこと。削除しておかないと、パソコンがフリーズすることがあります。

2. 画像だけのスライドショーを実行（動作確認）する

講座では、撮影日時順に表示させるので、「startup.txt」ファイルを開き、最初の行に記載されている英数文字の8番目の文字が、アルファベットの「d」になっていることを確認する。「n」になっている場合は「d」に修正しておくこと。

「d」は撮影日時順、「n」は名前順に表示させることを意味します。

(1) スライドショーの動作確認

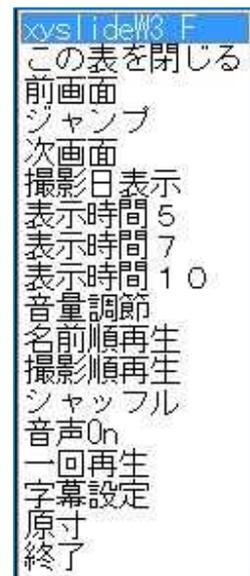
実行アイコンの「xyslideW.exe」をダブルクリックすると、スライドショーが撮影日時順に実行される。



(2) スライドショーを終了するには

画面上でクリックすると「メニュー」（右図）が表示されるので、メニューの最下部にある「終了」ボタンをクリックする。

クリックして表示されるメニューの説明は、「7、画面表示メニューについて」を参照のこと。



3. 画像につける名前（ファイル名）について

このスライドショーは、撮影日時順若しくは名前順に表示させることが出来ませんが、撮影日時順に名前を付け替えておくと、分かりやすい。

撮影日時順にリネームするには、「jpgSORT.exe」を使うと便利で、特に、複数のカメラで写した画像に統一した名前を付ける場合に有効です。

(1) 「jpgSORT.exe」を起動する

（下図の画面が表示されます。）



(2) フォルダを指定する

「参照」ボタンを押して、「img」フォルダを指定する。

「ファイル名の固定部」に名前を入力し、「リネーム開始」ボタンを押すと一括してファイル名の変更が出来る。

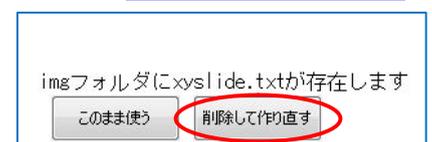
4. スライドショーに説明文を入れる

(1) 「xyslideTXT.exe」を起動する



(2) 「imgフォルダにxyslide.txtが存在します」の画面が表示された場合には

スライドショーを作り直した場合などは、「削除して作り直



直す」をクリックし、一部修正などの場合は「このまま使う」を選ぶ。

「xyslideTXT」画面（下図）が表示されます。

(3)「字幕文字」等を入力する



「xyslideTXT」画面に表示されている画像の説明文を、「字幕文字」テキストボックスに入力する。（改行は不可）

テキストボックスの下の「字幕中央停止」にチェックを付けると、説明文が停止文字で表示され、チェックを外すとスクロール文字で表示されます。

「撮影日表示」～「エフェクト」の欄で、個々の画像に適用する効果を設定する。

「左の設定を含める」にチェックを付けると、その効果等が有効となり、チェックを付けない場合は、「startup.exe」の設定が適用される。



「startup.exe」ファイルの設定が、スライドショー全体に同じ効果を適用（反映）するが、個々の画像に独自の効果を設定した場合には、個々の設定が優先されます。

「字幕文字書き込み」ボタンを押して、説明文等を確定する。 「img」フォルダに画像と同じ名前のテキストファイルが作成される。

「次画像」ボタンを押して、次の画像に説明文等を設定する。 すべての画像の設定が終了したら、「終了」ボタンを押す。

説明文等を挿入中の画像の編集等（ボタンの説明）

- ・「左回転」「右回転」ボタン 画像が90度回転します。（jpgにのみ対応）
- ・「削除」ボタン 「img」フォルダから画像が削除される。
- ・「縮小」ボタン ディスプレイのサイズに合わせて縮小するが、原寸サイズでの表示ができなくなる。（jpgにのみ対応）
- ・「トリミング」ボタン 画像をトリミングできます。先に画像の上でドラッグして範囲を指定しておくこと。（jpgにのみ対応）

- ・原寸 画像を原寸大で表示する、右クリックすると元に戻る
- ・終了 スライドショーを終了する

8 . スライドショーをCDに焼き付ける

「xyslide26」フォルダの内容をCDに焼付けて、スライドショーを楽しむことができます。

- (1)「xyslide26」フォルダを開き、内容をすべて選択し、右クリック 「送る」をクリック 「CDドライブ」をクリックする。

(注) 「xyslide26」フォルダにいれたまま焼き付けると、自動実行は出来ません。

- (2) CDドライブにCDを挿入

- (3) エクスプローラーの「CDドライブ」を開く 「CD書き込みのタスク」の表示の下にある「これらのファイルをCDに書き込む」をクリックして、書き込みを開始する。 完成

なお、スライドショーの再生回数を「1回」に設定してCDに焼いておくと、終了と同時に自動排出します。

9 . 講座で使用する画像などについて

講座で使用する画像、BGMは用意しますが、自分の画像等を使って作成したい方は、画像(jpg、bmp、gifに限る)5 10枚程度、音楽ファイル(mp3に限る)1 2曲を持参してください。

(注) 画像が多いと時間が掛かりますので、講座では避けてください。

なお、デジカメ動画(avi、mov)も画像と同様に扱えますが、講座では使いません。

【参 考】

1 . 「img」フォルダに画像がない場合

- (1)「xyslideW.exe」を実行すると、画像フォルダの指定を促すダイアログ(右図)が立ち上がるので、「参照」ボタンをクリックして画像フォルダを指定する。



- (2) 合わせて、BGM用音楽フォルダを指定することも出来る。

- (3)「開始」ボタンを押すとスライドショーが始まる。

2 . 複数のスライドショーを作成する場合には

一般的に、一度ソフトをインストールすると、そのソフトを起動させて幾つでもスライドショー(ファイル)を作成することが出来ますが、このソフトはスライドショー(ファイル)ごとに実行ファイル等(ソフト)が必要です。

従って、新たなスライドショーを作成する場合は、「xyslide26」フォルダごとコピーして、「img」及び「bgm」(フォルダ)に新たな画像、音楽などを入れて作成します。

3 . 画像にナレーションを付ける

- (1) windowsに標準装備の「サウンドレコーダー」を起動し、マイクフォンからナレーションを録音する。

「サウンドレコーダー」は、「すべてのプログラム」-「アクセサリ」から開くことができます。

(注) 音声ファイルは「mp3」で取り込むこと。また、録音はパソコンにサウンドカードがインストールされていることが必要です。取り込み方法は自習して下さい。

(2) 「img」フォルダの中に、ナレーション (mp3ファイル) を保存する

mp3ファイルは、説明文ファイルと同様に、対象となる画像ファイルと同じ名前を付けて「img」フォルダ内に保存すること。

(例 : 画像が0001xxx.jpgの場合、0001xxx.mp3とする。)

4 . 表示される画像の順番を変えたい場合

スライドショーで表示される画像の順番が、意図したものと違う場合は、「img」フォルダの中に出来ている「xyslide.txt」ファイルを修正する。

「xyslide.txt」ファイルを開くと、画像のファイル名が縦に並んでいる。スライドショーでは、上から順番に表示されるので、ファイル名の順番を並べ替えてやることにより、表示順を変更出来ます。

5 . スクロール文字を下から上に移動させる場合

本文の4 . 項で作成した画像の説明文ファイル (txt) の1行目に半角英数文字で「=credits=」と記入し、3行目に説明文を記述する。(2行目は空白が良い)

5 . スライドショーをDVDに焼き付けるには

作成した「xyslide」を動画ファイル (AVI、MOV) として、DVDに焼き付けることも可能ですが、新たな「DLL」等が必要な場合があります。詳しくは「はじめにお読みください.txt」を開き、「xyslideAVI.exe」欄を参照してください。

6 . ソフトの入手先

最新版をベクター等からダウンロードすることが出来ます。(サンプル画像付です)

URLは (ベクター)

<http://www.vector.co.jp/soft/win95/art/se367551.html>

です。

今回説明した以外にも、種々の設定・使い方が出来ます。「ReadMe.txt」などを参考にし、各自トライしてみてください。

最終編集 : 2011/10/24

Xyslide の効果等について

StartUp の表示項目

0	1	1	0	3	2	3	d	0	99	b	2
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	---	---

- 0 : 撮影日の表示 (0 = 無し、 1 = 有り)
- 1 : BGMの有無 (0 = 無し、 1 = 有り) 曲指定 (A ~ Z = 強制的に指定のBGMに変わる、 a ~ z = 演奏中のBGMが終了後、指定のBGMに変わる、 ! = 演奏中の曲が終わると無音となる)
BGMは 26 曲指定可能、 A (a) が 1 曲目 ~ Z (z) が 26 曲目の指定となる。
- 1 : 音声 (ナレーション、 0 = 無し、 1 = 有り)
- 0 : 表示時間 (2 = 2 秒、 3 = 3 秒、 4 = 4 秒、 5 = 5 秒、 6 = 6 秒、 7 = 7 秒、 8 = 8 秒、 9 = 9 秒、 0 = 10 秒、 1 = 60 秒)
- 3 : 字幕の大きさ (0 = 無し、 1 = 小、 3 = 中、 6 = 大)
- 2 : 字幕の速さ (1 = 低速、 2 = 中速、 3 = 高速)
- 3 : 字幕色 (0 = 自動、 1 = 白、 2 = 黒、 3 = 赤、 4 = 青、 5 = 緑)
- d : 再生順 (d = 日付順、 n = ファイル名順、 s = シャッフル)
- 0 : 再生回数 (0 = 無限、 1 = 再生 1 回 CD 自動排出、 2 = 再生 1 回 CD 自動排出無し)
- 99 : 画面切り替え効果 (下記参照)
- b : BGMによる終了 (B = BGMが一巡すると終了、 b = 終了無し)
- 2 : 設定項目なし

切り替え効果

- | | | |
|-----------------------|----------------|------------|
| 00 : 無し | 15 : あぶり出し | 30 : 中央から丸 |
| 01 : 左から滑りこみ | 16 : 左スライド | 31 : 左下から |
| 02 : 右から滑りこみ | 17 : ページめくり | 32 : 雨だれ |
| 03 : 左右から交互に滑り込み | 18 : 紙芝居右 | 33 : 雨だれ左 |
| 04 : 左から書き換え | 19 : 紙芝居下 | 34 : 雨だれ右 |
| 05 : 右から書き換え | 20 : 紙芝居上 | 35 : 集合整列 |
| 06 : 左右から交互に書き換え | 21 : 風車 | 36 : 解散 |
| 07 : 下から書き換え | 22 : ひらり | 37 : 市松縦 |
| 08 : 上から書き換え | 23 : パラパラ | 38 : 市松横 |
| 09 : 中心から左右に書き換え | 24 : ランダムタイル丸 | 39 : 市松左上 |
| 10 : 中心から上下左右に書き換え | 25 : フェードアウトイン | 40 : 市松左下 |
| 11 : 縦すじ | 26 : ランダムタイル2 | 41 : 市松右下 |
| 12 : ランダムタイル | 27 : 横すじ下 | 42 : 市松右上 |
| 13 : 紙芝居左 | 28 : 横すじ上 | 43 : 市松縦2 |
| 14 : クルクル | 29 : 縦すじ左 | 44 : 市松横2 |
| 98 : ランダム2 1クールごとの変わる | | |
| 99 : ランダム1 画像一枚ごとに変わる | | |